

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		New Step大阪2nd吹田青葉丘教室			公表日	令和8年 5月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	最大限スペースを活用する事、また利用人数に見合った運動プログラムを提供する等、日々工夫を行っています。	整理整頓や配置換え等も含めて、定期的を実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10	1	基準に沿った配置を行っています。	見守りが不十分であるという意見が出ていますので、見守りが徹底できる配置環境を構築していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	1日のスケジュール等の視覚化を行っています。事業所内入口に階段がありますので、見守りやサポートを行う事で安全面に配慮しています。	その時々で、通所される児童の特性に応じた対応を行えるように、定期的な見直しや対応を実施していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	児童の通所前、通所後に事業所内の物品の消毒清掃を行っています。遊びや活動スペースを広く取れるような工夫した配置を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	一人で落ち着ける、また支援員とゆっくりお話しが出来るスペースを確保しています。	スペースの環境を変更する等、状況に応じた対応を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	細かい報告、情報共有の為話し合いを実施しています。非常勤職員に対しても連絡ノート等を活用しながら周知を図っています。	細かい部分についても、情報を集約出来るよう、体制の構築を進めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	毎年度末に保護者アンケートを実施しています。頂戴したご意見や問題点を把握し、改善に繋がっています。	保護者様との日頃のやり取りの中でも、問題点等の把握に努めていきます。課題の整理を行い、支援員間でも話し合いを行いながらご意見等の周知、改善を図っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	定期的に関き取りを行う事で課題の集約を行い、その後の改善に向けて対応を行っています。	確認出来た課題についての改善策・対応策を、各支援員へスピード感をもって周知が図れるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	3	完全な外部評価は行えていません。	外部評価を取り入れた評価が行えるよう、今後も引き続き検討を進めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	研修計画に沿った各支援員に対する研修機会の確保、また事業所単位、法人単位での研修機会の確保を行っています。	今後も引き続き様々な状況を想定し、またその時の社会情勢等も踏まえた研修計画の策定を行い、支援員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	ガイドラインに示されている「5領域」について、総合的な支援を行える形にて支援プログラムの策定・公表を行っています。	プログラムの狙い等も含めて、職員間で周知を行う機会を設けていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	お子様、保護者様への聞き取りやアセスメントを実施し、ニーズを踏まえた上で個別支援計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	日々の個人記録、また各支援員からの意見等も含めて多角的な視点でモニタリングを実施し、個別支援計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	支援に携わる支援員全員が、計画の内容について確認出来るようにしています。また、児童通所前には計画記載内容について、留意点等の情報共有を図っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	アセスメントシートを作成しており、随時更新をお願いしています。日々の行動面については個別支援記録、また気になる状況が確認された場合は、別途行動観察シート等も活用しています。	職員への周知の方法については、今後も検討・改善を図っていきます。口頭だけでなく、連絡ノート等も含めて、周知方法を見直し、実施していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	モニタリングによる直近のご様子やニーズも踏まえ、5領域だけでなく本人支援等についても状況を踏まえた支援内容を設定し、個別支援計画書へ反映しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	常動支援員を中心とし、各支援員の長所を活かしたプログラム策定を行っています。	非常動支援員に対しては、プログラムの狙い等の理解を深められるよう1日の支援開始前に随時説明等を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	日々プログラム内容の検討を行い、お子様が興味を持って取り組めるようなプログラム作成に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1	集団での活動が基本となります。ただ、状況に応じて個別支援・個別対応を織り交ぜた形で支援を行っています。	必要な部分につきましては、個別支援計画書へ記載していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	通所児童の近況等の情報共有や確認、各支援員の当日の役割確認等の機会を毎回設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	支援終了後に、その日の様子も含めて振り返る事で情報の共有を図っています。	連絡ノート等も活用しながら、幅広く情報の周知を図っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日々の様子の変化を把握出来るよう、毎回記録を残し、今後の支援に繋げています。	個別支援計画書に沿った部分については、特に重点的に記録へ残し検証する事で、改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	2か月毎にモニタリングを実施しており、個別支援計画書の修正等の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0	各種活動を通して生活面の充実や、遊びの機会の提供、児童間での関わりや主体性のある取り組み等を実施し、また、課外活動等では様々な事を経験することで、地域交流の機会につながるよう支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	気持ちの汲み取りや、他者と相談した上で決定していく等の自己選択支援を、児童の発達段階に合わせて支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者の出席を基本対応としていますが、状況に応じて最適だと判断する支援員が出席する等、柔軟に対応を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	保護者様とも連携を図りながら、随時必要に応じて情報共有や相互確認等を各関係機関にて行っています。	その時々だけでなく、継続した連携についても強化を図っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	保護者様にも協力を依頼しながら、各学校との連絡調整等の連携を図り、情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1	可能な範囲で該当機関へ必要な情報の聞き取り、情報共有等の連絡調整に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	2	現在の所、項目に該当する児童はいません。	該当する児童がいる時は、必要に応じて支援内容や状況等について移行先事業所と連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1	随時連携を図っており、研修会等が開催される場合は、積極的に職員の派遣を行っています。	研修会等で得た知識については、各支援員に周知を図れるよう、事業所内で共有できる機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	2	近隣等の公園や、課外活動の際に、現地や地域の方との交流機会を設けています。	交流機会については、現状でも十分ではないと考えています。利用されている保護者様等のニーズにも留意しながら、引き続き検討を進めていきます。

関係機関や保護者との連携	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	10	1	市の取り組みや吹田市事業所連絡会には変わらず出席しています。	可能な範囲にはなりますが、自立支援協議会への参加も引き続き検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	連絡ノートだけでなく、電話やLINE等も活用しながら日々の様子や課題等について情報共有を図っています。	面談等の活用、また情報共有しやすい環境作りにも引き続き努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	保護者様からの困りごと等の相談に対して、電話や面談等にて対応を行っています。	現状では十分ではないと考えています。今後もきめ細やかな対応やサポートを行えるよう連携面の強化を図っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	ご契約の際に説明を行っています。ご不明点がある際は改めて説明を行い、その他サポートも実施しています。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	個別支援計画作成時は、お子様や保護者様のご希望等の聞き取りを行い、個別支援計画書の作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	個別支援計画の仮案を保護者様へ提示し、保護者様の同意を得た上で、個別支援計画書成案としています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	保護者様より悩み事やお困り事を伺った際は、電話や面談等を通して迅速な対応を心掛けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	2	今年度は保護者会を開催しています。事業所からの伝達事項と合わせて、保護者様同士での交流・意見交換の時間を設けています。	次年度も引き続き良い交流機会を設けられるよう、保護者会の開催に向けて検討を進めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	お子様や保護者様よりご相談を受けた場合は、必要事項の確認を行ったうえで回答を行う等、迅速に対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	定期的に保護者様に向けて会報をお配りする事で情報共有を図っています。	定期的な会報配布を継続出来るよう、引き続き準備を進めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	保護者様に対してはご契約の際にご説明を行い、同意を頂いています。全支援員に対しても個人情報の取り扱いに対する指導・管理を徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	契約書類等については、拡大版やルビ版も作成しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2	近隣や課外活動時にて、交流機会を設けています。	住民招待型の行事開催は行っていません。社会情勢等も踏まえて、今後も前向きに検討を行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	保護者様に対しては、ご契約時に説明を行っています。	周知方法については引き続き検討が必要だと考えています。来所時、保護者会時、会報等を活用した周知を行っていきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	BCPの策定と共に、事業所内にて定期的に避難訓練やマニュアル確認、周知を行っています。	通所されているお子様については、定期的に防災センターでの体験学習、また事業所内での振り返り学習等の機会を設けていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	通所前や定期的なタイミングで、アセスメントシートを活用し、お子様の健康面について確認を行い、周知を図っています。	必要に応じて、医師の指示書等の提供を求めています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	事前アセスメント時にて、アレルギーの有無について確認を行っています。	アレルギー対応を行う際、必要だと判断する場合は、医師の指示書等の提供を求めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を作成し、その中で計画的に研修や想定訓練等を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	安全計画に基づき、定期的に資料等の配布を行っています。	引き続き、会報等配布時や保護者会等を通して周知を進めていきます。

非常時等の対応	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	1	事業所内にてファイリングし、常時閲覧可能としています。また、法人内で委員会を開催し、その中で事業の集約や検討等を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	定期的に虐待防止委員会主催の研修会を開催しています。また、外部の虐待防止研修にも積極的に職員を派遣しています。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	11	0	定期的に虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を開催しています。また、委員会報告書等を活用することで、全職員へ周知を行っています。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	身体拘束0の取り組みを行っており、身体拘束は行っていません。	